

公共施設管理における ワークショップの考え方 ～第4回芋井地区市民ワークショップ～

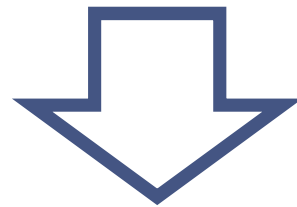
2016年7月2日
前橋工科大学 堤洋樹

本ワークショップの目的

芋井地区にある
公共施設を通して
「生活」を考える

公共施設の話では？

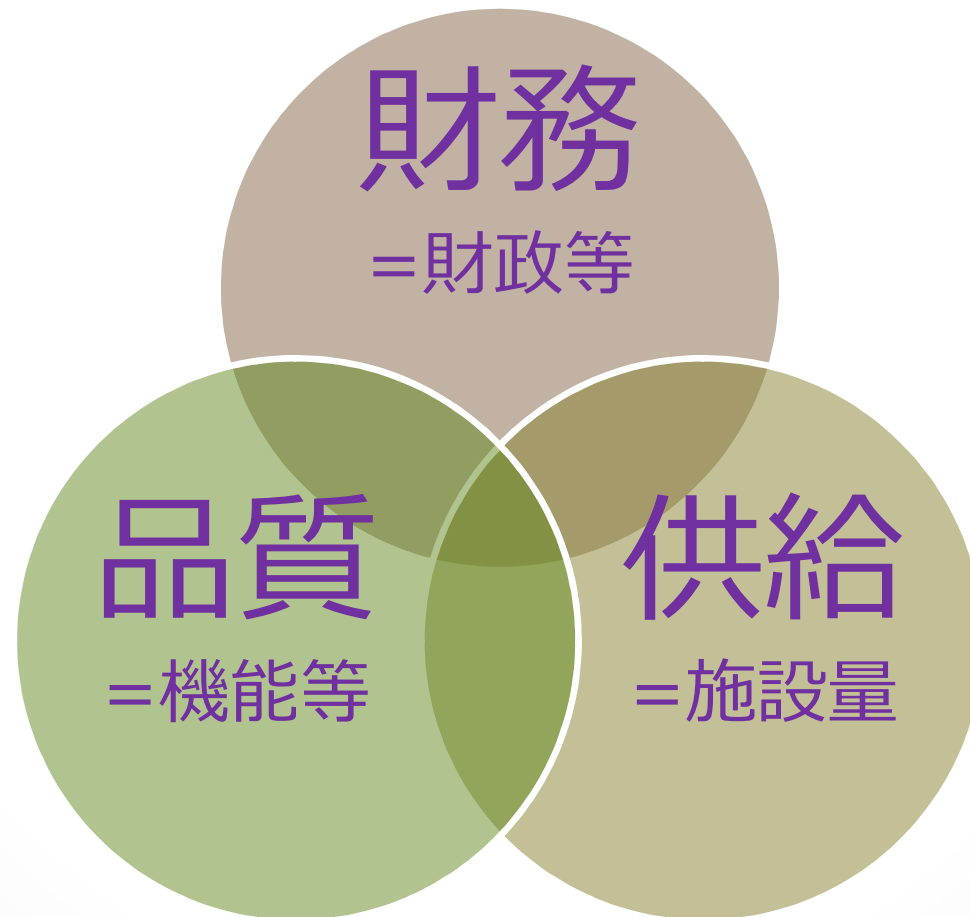
施設 ≠ サービス



施設 = サービス拠点

施設量 ≠ したいこと

施設管理マネジメントの基本



公共施設は地域全員のもの

他人任せの施設整備で
生活の質は向上しない
→地域全員で考える

自治体と住民の協働作業では

自治体は自治体の
住民は住民の
役割を果たすこと

自治体の役割

公共施設の整備方針を
明確な根拠をもって
住民に説明する

住民の役割

施設への要望ではなく
自分たちが続けられる
活動を自治体に示す

ワークショップでできること

公共施設整備の
具体的な設計の前に
方向性を確認すること

最後に

公共施設整備を考える
機会を今後の整備計画
に活用するためには？